Target List

屋内, 大きい, 光, 地域 が含まれている画像

AI によって生成されたコンテンツは間違っている可能性があります。

1列目　ファイル名

2列目　Target Number （ソート順は レベルか距離かで選択可能）　Setting画面にて

3列名　データ名

4列目　ブランク

5列目以降　演算周期毎の結果

　Range : 直線距離

　Level : 振幅（反射強度）

2D, 3D 表示パラメータ　GUI上で項目選択

　　Theta : アジマス方向 (0～ 3.14) [rad] 極座標

　Phai : エレベーション方向(0～ 3.14) [rad]　 極座標

　　X : 直交座標 アジマス [m]

　Y : 直交座標 エレベーション[m]

　Z : 奥行距離 [m]

　Phase1 : Rx1 の位相値

　Phase2 :　Rx2 の位相値

　Phase3 : Rx3 の位相値

A Scope

グラフィカル ユーザー インターフェイス, アプリケーション, テーブル, Excel

AI によって生成されたコンテンツは間違っている可能性があります。

1 列目　ファイル名

2列目　Range Bin （距離の刻み R res）

3列目以降　演算周期毎の振幅値 (FFT Real)

Ascope1 : Rx1 の Range FFT (A Scope)

Ascope2 : Rx2 の Range FFT (A Scope)

Ascope3 : Rx3 の Range FFT (A Scope)

AscopeSync : Rx1, 2 3 の 合成Range FFT (A Scope)

IF

グラフ, 折れ線グラフ

AI によって生成されたコンテンツは間違っている可能性があります。

1 列目　ファイル名

2列目以降　Chirp毎のAD 取得データ

IF1 : Rx1 の AD data (IF)

IF2 : Rx2 の AD data (IF)

IF3 : Rx3 の AD data (IF)